

3類型	農林水産物	通巻番号	4-27-023
地域資源名	白川郷の米	認定日	平成28年2月3日
地域	白川村	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名:世界遺産「白川郷」のお米でつくるパウダー「ライスミルク」の製造・販売事業

会社名:有限会社レイク・ルーズ
(法人番号5200002014782)

所在地:岐阜県海津市南濃町奥条292番地9
(白川村工場)岐阜県大野郡白川村

連絡先:TEL:0584-55-0229
FAX:0584-55-0229

大字鳩谷3番地の1
HP :http://www.kome-men.com/01_home.html

事業概要

- ・同社は、米粉の粉碎技術にノウハウを持っており、米粉を使った麺製品「べーめん」や「米粉カステラ」等を製造しているほか、減圧低温乾燥機を使って乾燥した野菜や果物を粉末化した「青汁」なども販売をしている。
- ・そのような取り組みを通じて、白川郷を擁する岐阜県白川村の役場や事業者と交流ができ、廃校となった村内の小学校を活用し自社工場を設立。また、村内における耕作放棄地の作付け依頼も受けるようになり、白川村で稲作と米粉・米粉加工品や乾燥野菜、果物の製造を行うようになった。
- ・本事業では、独自の粉碎や加工技術を活用し、米の風味や栄養素を残しながらも水に溶けやすい加工を施した粉末状の「ライスミルク」を開発。さらなる米の活用と新たな地域産品の開発を目指す。



【写真:粉末ライスミルク(上)とライスミルクを水で溶かしたもの(下)】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・添加物なども使わない粉末状のライスミルクは市場においても数少なく、発売以来多くの引き合いが来ており、競合品との競争力を有していると考えます。

◆市場性

- ・欧米ではライスミルクは健康や美容に良い商品として、また、グルテンフリー商品として広く普及しており、日本においても昨今そのようなニーズを持つ女性を中心に急速に人気が高まってきており、十分な市場も見込める。

◆販路

- ・米100%の麺(べーめん)やラーメンや米粉カステラを取り扱っている既存販路からは取扱の要望が多く来ている。今後は、アジア圏を皮切りに欧米への販路開拓も目指していく。

地域における関係事業者との連携

- ・白川村保有の小学校跡を向上にして事業を実施。地元の雇用も行っている。
- ・高齢化などで作付されなくなった水田を自社で引き受けで米の栽培を行っている。
- ・白川村内の土産店や道の駅でも新たな地元産品として販売していく。